

地域安全のまど



協力・資料提供：小松島警察署

暴力団に関することは、迷わず、恐れず
 “小松島警察署へ”
 0885-32-0110
 暴力団排除条例が
 制定されました!!
 ~平成23年4月1日施行~

暴力団は、暴力行為を背景とした資金の獲得活動によって、県民の平穏な生活を著しく脅かすとともに、公平な社会経済活動の発展にも悪影響を与えている状況にあります。

さらに、「暴力団に関するアンケート調査」の結果、暴力団が存在し続ける理由に「暴力団にお金を出したり、利用する者がいる」との回答が全体の約6割に上ったことから、暴力団を「恐れない」「金を出さない」「利用しない」を基本概念として、県、事業者、県民が一致団結し、暴力団排除が行われることをこの条例制定の目的としています。

暴力団排除条例が制定されました!

東北地方太平洋沖地震の被災地に市消防本部から消火部隊を派遣

東北地方太平洋沖地震の被災地を支援するため、市消防本部から緊急消防援助隊の徳島県隊として消火部隊1隊の5名（八幡將夫消防司令、泉孝之消防司令補、露口圭祐消防士長、川北一博消防士、長尾学消防士）が3月14日、小松島市を出発しました。

また、市水道部と（株）豊徳が協力し、20リットルの容器で300本分の飲料水を被災地に届けるため、3月16日に小松島市を出発しました。



出発前に市長（手前）から激励される緊急消防援助隊員ら

市民文芸 花みずき歌壇 (262) 松並武夫・選

北国の旅に出で来し心地してふんわりうきうき雪空仰ぐ

立江町 湯浅かや子

《評》今年是小松島市でも久し振りに十センチほどの雪が積もった。雪を見ることなく春を迎える年もあり、南国に降る雪は美しく、何となくこころ弾むものである。北国のような雪景色を堪能した作者は、子供のようにうきうき雪空を仰いだのである。

死の注射打たれているとは知らざりし牛の最期のひと声かなし

田野町 神崎 美津

奥飛騨は真綿色した雪の舞い朝日に光り暈増す綿帽子

小松島町 高原 明美

春一番過ぎ去る夕べ降る雨に乾ける土の匂い満ちくる

中郷町 東野 典子

葉牡丹は雪にもめげずさ庭辺に元気元氣と葉を広げ立つ

横須町 三宅 敏恵

一人では何も出来ない口惜しさも新聞読める楽しみを持つ

神田瀬町 小寺 雍子

雨のなき乾燥したる畑に立ち馬鈴薯植えるを一思案する

立江町 榊 ツギエ

姪っ子と甥っ子すすく育ちゆきアンパンマンを上手に描く

立江町 大西 和美

お八つにと鳴門金時焼きおればラジオのニュースは八百長相撲

横須町 柿本美知子

新雪が朝日に反射して眩し雀も喜び庭に飛び交う

立江町 森本 幸子

祖谷俳句会

海荒るここは水仙咲く岬

小倉 幸子

春の風邪治りをりしと思ひしに一息をつきて白菜真二つに

川又 隆子

母在りし頃は**大**ぶり蓬餅

村瀬眞知子

あふられて火の海となり野火猛る

井上恵美子

春塵の靴を拭ひて面接に

鈴木 順子

じつくりと場所を見定め木の実植う

川端 瑞枝

土割れし辺り竹の子探り掘り

松島 良子

ベビーカー押して落葉を砕きゆく

平井 舟生

早春の里トンネルの開通す

宮前 和子

虎尾みつこ